

# 著作権許可不要 県が制作

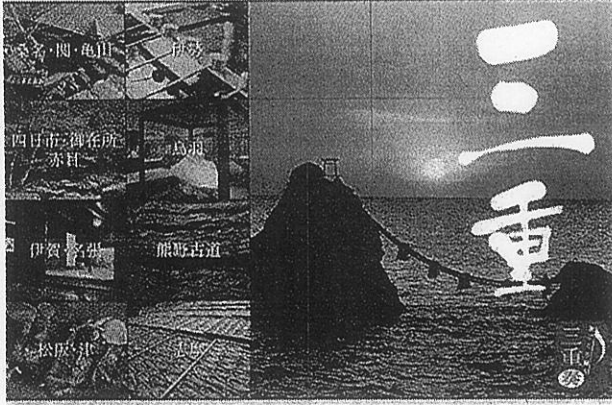
県と県観光販売システムズは、使用許可を取らずに旅行パンフレットに掲載できる県内の観光案内写真約千四百点を収めたCD「県フォトライブラリー」を制作した。全国の旅行会社へ無料配布している。パンフレットの写真撮影という旅行会社の仕事を肩代わりし、県内観光地の旅行商品化を促す試みで、都道府県レベルでは珍しい取り組みという。(沢田敦)

# 使用自由 観光写真CD

## 地域別四季の表情など1400点

## 全国旅行社に配布

Mie Photo Library  
三重県フォトライブラリー



125社巡回MAP ▶ 熊野古道MAP  
県フォトライブラリーのトップページ

伊勢や熊野古道など観光スポットや街並み、県内を八地域に分け、観食・お土産、祭りなどの写真を収録。同システムズが民間施設や店舗から写真の使用許可を得て県が版權を持つ(一部を除く)ため、旅行会社は許可を取らずにパンフレットに掲載できる。

旅行会社の使い勝手を考え、観光スポットは四季折々の表情、伊勢エビや松阪牛などの食品はさまざまな角度から撮影。一カ所・一品につき十枚以上の写真が収められているものも多い。県費六百八十万円でCD三百枚を制作した。

パンフレット作成は、旅行会社の「面倒」な仕事の一つ。最近では人手不足で、二十年前に撮影した写真を掲載している社もあるという。そんな状況を目の当たりにし、県と同システムズが構想を温め、システムズのスタッフとカメラマンが一年がかりで県内各地を歩いて回り、完成させた。

CDに収められた写真は早くも、一部の旅行パンフレットで使われている。システムズの小高直弘事務局長は「旅行会社

にとっては至れり尽くせりと思う。県内観光地の中で、北海道や九州など商品化もしやすく、県に遠方の社も動きやすくなるともメリットが大きいです。

### 法廷模様

懲役四年六月。昨年七月、夫を餓死させたとして殺人罪に問われた森本のり子被告(40)は四日市市堀木は、十六日の津地裁四日市支部の判決を吹っ切れたような表情で受けた。

弁護側は殺意を否定し、猶予判決を求めたが、判決は未必の故意を認め実刑。森本被告は判決文が読み上げられる間も姿勢を崩すことはなかった。

公判では、長女が証言台に立つ

### 次の人生

た。「父が死んでも、母が憎いとは思わない」と母をかばった。証言台には立たなかったが、長男の意見も同じだった。働かず、酒を飲んで暴れる父。家庭に落ちた影は大きかった。

裁判長は「被害者との関係を解消するには、死なせる以外にはほかにも方法があった」と指摘した。だが最後には「罪を償って、社会復帰してください。いろいろとお世話になった弁護士さんなどにもお礼を」と、次の人生に向けた言葉を贈った。

(瀬戸佑太)

### 定数13に削減

#### 朝日町 条例改正案を可決

朝日町議会は十六日の定例会本会議で、議員発議された町議定数を現在の二一三から二減らして一にする条例改正案を全会一致で可決した。来年春に予定されている統一地方選から適用する。

改正理由は「単独町制は十六日、松本豊明助役

名張市助役が  
今月限り辞任  
健康上の理由で

名張市の亀井利克市長  
松本助役は同市の市民部長、収入役などをを経て

# 「学校美術館」を常設 伊賀市教委 今秋から

当たる人の調査を依頼し、約百人が候補に挙がった。今後、作品の譲渡、貸与を要請する。並行して、各校に具体的な展示場所やその広さ

# モリアオガエル 落ち葉に産卵



エガ(63)のモリオガエルは、落ち葉に産卵した。近隣の林に産卵した。